

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	防災事業				基本目標	危機管理体制の整備			
担当課(局)・係	総務課	生活安全係	記入者	野中康弘		事業開始年度	18	年度	
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)					
	町民			災害時の住民の生命と財産の被害が最小化される					
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 町民の防災意識の高揚を図るため、各種避難訓練や出前講座を実施する。 災害時における避難所等での備品や備蓄食糧の整備を年次的に行う。 施設老朽化やデジタル化への対応のため、防災行政無線放送施設の更新を行うとともにSOS・防災情報配信システム加入者の増加を図り、情報伝達手段の迅速化・多様化を図る。 								
予算・決算額	年度	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度予算財源の内訳				
	金額	12,577千円	193,037千円	128,909千円	国庫支出金	81,297千円			
	主な予算科目	歳入	防衛施設周辺対策事業国庫補助金			県負担金	349千円		
		歳出	工事請負費(防災行政無線放送施設設置工事)			地方債	9,700千円		
					その他	22,912千円			
					一般財源	14,651千円			
補助事業	事業の区分				補助事業名				
	補助対象				補助金要綱				
	前年度決算	補助額		千円	補助の形態	H26年度補助額		千円	終期
		交付団体の決算額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
	決算額に占める割合	#VALUE!	%						
	繰越額		千円						

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
災害時情報伝達手段の迅速化・多様化			年次的な食糧等の備蓄			町民の防災意識の高揚		
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
屋外拡声子局設置	38	局	備蓄食糧数	16,938	食	出前講座・訓練参加者数	2,000	人
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
防災行政無線放送施設整備	千円	備蓄食糧の購入	食	出前講座・訓練開催数	回			

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項		
			実績値	24年度	25年度		目標値	
成果指標	屋外拡声子局設置	局	実績値	13	28	目標値	38	当初予定どおり25年度に無線親局整備、子局28局の更新を実施した。
			達成率	34.2%	73.7%	達成率		
	備蓄食糧数	食	実績値	2,952	4,308	目標値	5,408	
			達成率	17.4%	25.4%	達成率	31.9%	
出前講座・訓練参加者数	人	実績値	2,377	2,517	目標値	2,000	26年度においても、5月25日に津波避難訓練を実施予定。	
		達成率	118.9%	125.9%	達成率	100.0%		
活動指標	防災行政無線放送施設整備	千円	実績値	7,137	186,730	目標値	108,396	
			目標値	7,137	186,730			
	備蓄食糧の購入	食	実績値	500	1,600	目標値	1,100	
			目標値	500	1,600			
	出前講座・訓練開催数	回	実績値	9	10	目標値	10	
			目標値	8	8			

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	長年の課題であった防災行政無線の更新と子局の新設は防衛省補助事業で25・26年度で完了できることとなった。但し、放送を受信できない住家が存在することは明白であり、その対応が課題として残っているが、防災はどこまで対応すれば良しとするのか基準もないため、年次計画で対応していくしかない	今後の方向性 拡充
	有効性	5				

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 現在の町民ニーズや国の施策等からも拡充は避けられないが、備蓄品に関しては町民の防災意識の醸成といった観点からも各自で備蓄を促す方を検討してはどうか 	外部評価委員会評価判定欄
拡充		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	消防施設整備事業				基本目標	消防施設の充実					
担当課(局)・係	総務課	生活安全係	記入者	上妻信一		事業開始年度	年度				
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どのような状態にしたいのか)						
	高鍋町消防団				活動が円滑に行える						
事業の内容	消防団の消防車両等の導入・更新、消防機庫の建設、消防水利の維持管理、防災行政無線整備を行う										
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳			
	金額	249,025 千円		253,376 千円		255,162 千円		国庫支出金	千円		
	主な予算科目	歳入	地域防災力強化促進事業費補助金					地方債	千円		
		歳出	修繕料(物) 備品購入費 負担金 繰出金					その他	千円		
							一般財源	254,541 千円			
補助事業	事業の区分					補助事業名					
	補助対象					補助金要綱					
	前年度決算	補助額			千円	補助の形態			H26年度補助額	千円	終期
		交付団体の決算額			千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	#VALUE!		%							
	繰越額			千円							

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A									
消防団の装備の充実			消防団設備の適正な維持管理・整備点検						
Aの達成状況を計るもの ……成果指標									
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	
ポンプ・車両更新基準遂行率	100	%	機庫点検実施数	154	回				
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標									
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位				
消防車両点検整備数	件	施設、機械機器修理数	件	消火栓管理数	基				

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項		
			実績値	24年度	25年度		目標値	
成果指標	ポンプ・車両更新基準遂行率	%	実績値	87.5	83.3	目標値	更新基準(消防車両14台 17年、小型動力ポンプ10台 10年)までに更新が完了したものの割合	
			達成率	87.5%	83.3%	達成率		83.3%
	機庫点検実施数	回	実績値	154	154	目標値		154
			達成率	100.0%	100.0%	達成率		
活動指標	消防車両点検整備数	件	実績値	10	5	目標値	10	
			目標値	10	5			
	施設、機械機器修理数	件	実績値	8	43	目標値		34
			目標値	5	5			
	消火栓管理数	基	実績値	498	502	目標値		502
			目標値	471	502			

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	町民の生命と財産を守るため、消防資器材の更新は急がれるが、補助事業の獲得など年次計画を立てて対応していきたい。	今後の方向性
	有効性	5				拡充

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 現状と整備計画を考慮した事業とすること。 計画的に、実施していくことが必要。 施設の更新にあたっては一律ではなく故障の頻度等を勘案するべき 補助事業等を有効に活用しつつ計画的な更新が必要であるが、適正な維持管理により施設や資器材の延命を図ることも必要 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	地域安全対策事業1				基本目標	防犯意識の啓発				
担当課(局)・係	総務課	生活安全係	記入者	上妻信一		事業開始年度	年度			
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	町民			安全に生活できる						
事業の内容	防犯協会や防犯モデル地区、地域安全組織の防犯活動の支援。青パトを活用した防犯パトロールの実施。防犯灯の設置。									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	1,409 千円		1,961 千円		1,760 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	修繕料(防犯灯) 工事請負費(防犯灯)					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	1,760 千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	高鍋町防犯協会補助金				
	補助対象	高鍋町防犯協会			補助金要綱	高鍋町防犯協会補助金交付要綱				
	前年度決算	補助額	50 千円		補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	50 千円	終期	26
		交付団体の決算額	50 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
		決算額に占める割合	100 %							
繰越額		0 千円								

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
防犯抑止効果の向上			地域の連帯感向上による見守り効果					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
刑法犯認知件数の減少	120	件	防犯活動実施地区数	84	地区			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
防犯パトロール実施日数	日	年間防犯灯設置数	基					

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項
			24年度	25年度	26年度	
成果指標	刑法犯認知件数の減少	件	実績値	124	141	目標値 120 防犯パトロールの実施や防犯灯設置により犯罪抑止効果が高まり刑法犯認知件数の減少につながる
			達成率	103.3%	117.5%	
	防犯活動実施地区数	地区	実績値	6	6	蚊口、菖蒲池、小丸出口、正ヶ井手、道具小路、水除で取組あり、今後コミュニティスクール事業に
			達成率	7.1%	7.1%	
活動指標	防犯パトロール実施日数	日	実績値	13	13	目標値 24 コミュニティスクール事業による見守りなど地域と連携した防犯パトロールを実施する。
			目標値	13	13	
	年間防犯灯設置数	基	実績値	10	9	目標値 10 毎年要望が20基以上あるが予算の制約がある。
			目標値	10	10	
			実績値			目標値
			達成率			達成率
		目標値			目標値	

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	効率性				今後の方向性
	有効性	公益性				

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 根本的な地域安全の方策を検討する必要あり。 防犯事業は必要であるが、防犯協会の活動を今後検討すること 補助対象団体の統合等によりスケールメリットによる事業合理化の余地があるように感じる 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	消防団運営事業				基本目標	消防団の充実			
担当課(局)・係	総務課	生活安全係	記入者		事業開始年度		年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)					
	町民			災害発生時に生命財産が守られる					
事業の内容	消防団員の災害出動、教育訓練、消防資機材の点検、災害予防活動等を実施								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	35,206 千円		39,685 千円		39,045 千円		国庫支出金	千円
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円
		歳出	非常勤職員報酬 報償金 費用弁償 負担金					地方債	千円
							その他	千円	
							一般財源	39,045 千円	
補助事業	事業の区分				補助事業名				
	補助対象				補助金要綱				
	前年度決算	補助額		千円	補助の形態	H26年度補助額		千円	終期
		交付団体の決算額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
	決算額に占める割合	#VALUE!	%						
	繰越額		千円						

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
消防団員のスキルの向上			消防団員の確保					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
火災発生から鎮火までの時間短縮	30	分	消防団員数	285	人			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
訓練等参加数	人	消防団活動啓発	回					

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項		
			24年度	25年度	26年度			
成果指標	火災発生から鎮火までの時間短縮	分	実績値	73	42	火災の状況によって鎮火時間は左右されるが概ね30分内に鎮火できるよう努めたい		
			達成率	243.3%	140.0%			
	消防団員数	人	実績値	254	257			
			達成率	89.1%	90.2%			
活動指標	訓練等参加数	人	実績値	6221	5493	目標値	5300	
			目標値	5300	5300			
	消防団活動啓発	回	実績値	2	2	目標値	2	
			目標値	2	2			
				実績値			目標値	
				目標値				

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	災害時における消防団員の必要性は高まっているが、団員確保は厳しい状況が続いているが、女性消防団員の入団希望もあり、機能別団員の検討を急いでいる。	今後の方向性
	有効性	5				拡充

事務事業評価委員会評価欄	・団員の確保等に力を入れてもらいたい。 ・費用弁償の増額が団員確保につながるか不明 ・消防団は必要なものであり、事務事業評価になじまない対象外で良いのでは？ ・女性消防団員については、将来的な団員確保なども踏まえたうえで検討してもらいたい	外部評価委員会評価判定欄
維持		